



1-3 地域研究会・合同地域研究会の実施

東京大学地震研究所

目 的

- 理学的な調査によって得られる地震・津波についての情報を利活用し、工学・社会科学などの**研究成果**とともに、**日本海の地震・津波特性や社会的特性を考慮し、地域ごとに異なる諸状況に合った地域防災リテラシーの向上を図り、地域に還元。**
- **防災教育の手法の開発のため、地域の大学等の研究者・専門家の積極的参加を求め、地域の自治体等との持続的連携体制を構築。**

概 要

- それぞれの地域で進められている津波検討委員会などなどの組織やネットワークをできるだけ活用し、それらと調和的に、それぞれの**地域のもつ個別の問題**に留意しながら、**防災関係者、ライフライン事業者、研究者等**を対象とした地域研究会を組織。
- 本プロジェクトでの**研究成果**や、**既存の学術情報の伝達**を行うとともに、**地域ごとに異なる対応が必要となる地震・津波などの防災上の課題**について検討。

1. 地域の防災リテラシー向上に向けた取組

1-1 防災教育に対する知識構造的アプローチ

1-2 沿岸防災手法の工学的評価

要望

提案

1-3 地域研究会・合同地域研究会の実施

- 各種報告・情報共有
- 話題提供と質疑応答
- 防災リテラシー向上のための意見交換 など

話題提供と意見交換

- 出席機関：
 - ・ 行政（国、道県、市町村、消防）
 - ・ 研究者
 - ・ ライフライン事業者（電力、交通、通信、ガス等） など

● 地域研究会

- 継続開催地：北海道、秋田県、新潟県（2回）、富山県、鳥取県、福岡県
- 新規開催地：山形県
 - 開催内容、出席機関等を事前協議
 - 地域の状況に応じ様々な形式・内容で開催

● 合同地域研究会

- 福岡県地域研究会に佐賀県・長崎県が参加、九州合同地域研究会としての性格を併せもたせた

2. 津波波源モデル・震源断層モデルの構築

3. 津波および強震動の予測

平成26年度 開催概要

地域	開催概要
北海道	<ul style="list-style-type: none">● 平成27年3月20日、第2回地域研究会開催第一部 「津波防災地域づくりに関する法律」に係る情報共有 (北海道開発局防災課、北海道危機対策課・維持管理防災課)第二部 講演「国の調査検討会データ及び日本海の津波特性の特徴」 (講演者：谷岡 勇市郎 北海道大学大学院 理学研究院附属 地震火山研究観測センター 教授)第三部 ワークショップ「日本海津波対策を考える」 (ファシリテータ：定池 祐季 東京大学大学院 情報学環附属 総合防災情報研究センター 特任助教)
秋田県	<ul style="list-style-type: none">● 平成27年3月10日、第2回地域研究会開催第一部 各種報告・情報共有第二部 話題提供「広い低平地における津波対策に関する研究 ～潟上市における取り組みについて～」 (鎌滝 孝信 秋田大学 地域創生センター 地域防災部門 准教授)第三部 意見交換「第1回地域研究会で出された課題とその解決・対策に向けて」

平成26年度 開催概要

地域	開催概要
山形県	<ul style="list-style-type: none">● 平成27年2月3日、第1回地域研究会開催<ol style="list-style-type: none">1. 日本海地震・津波調査プロジェクトと地域研究会について2. 山形県における地震・津波防災の取り組み状況について 「庄内地域地震・津波等災害対策連絡協議会」の活動状況について3. 意見交換と情報共有
新潟県	<ul style="list-style-type: none">● 平成26年9月9日、第2回地域研究会開催<ol style="list-style-type: none">1. 日本海地震・津波調査プロジェクトと地域研究会について2. 話題提供「新潟県に影響を及ぼす津波波源モデル・震源断層モデルの現状と課題」 (佐藤 比呂志 東京大学地震研究所 教授)3. 質疑応答、意見交換● 平成27年3月18日、第3回地域研究会開催<ol style="list-style-type: none">第一部 各種報告・情報共有第二部 話題提供「新潟県に影響を及ぼす地震・津波の特性について」 (佐藤 比呂志 東京大学地震研究所 教授)第三部 意見交換「新潟県に影響を及ぼす地震・津波の特性について」 <p>※隣県調整を兼ねオブザーバーとして富山県が出席</p>

平成26年度 開催概要

地域	開催概要
富山県	<ul style="list-style-type: none">● 平成27年2月17日、第2回地域研究会開催第一部 各種報告・情報共有第二部 話題提供と質疑応答<ul style="list-style-type: none">「平成26年度 かほく-砺波測線海陸統合地殻構造探査の成果」 (佐藤 比呂志 東京大学地震研究所 教授)「「避難」の諸問題—車避難の問題を中心に」 (関谷 直也 東京大学大学院 情報学環附属 総合防災情報研究センター 特任准教授)第三部 意見交換「富山県における地震・津波防災リテラシー向上に向けて」
鳥取県	<ul style="list-style-type: none">● 平成26年11月5日、第2回地域研究会開催第一部 各種報告・情報共有第二部 話題提供と質疑応答<ul style="list-style-type: none">「鳥取県に影響を及ぼす津波波源モデル・震源断層モデルの現状と課題」 (佐藤 比呂志 東京大学地震研究所 教授)「H25年度の鳥取県津波堆積物調査の成果」 (酒井 哲弥 島根大学大学院 総合理工学研究科 地球資源環境学領域 准教授)「防災リテラシー向上の取組み」 (黒岩 正光 鳥取大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻 教授)

平成26年度 開催概要

地域	開催概要
福岡県	<ul style="list-style-type: none">● 平成27年3月3日、第2回地域研究会開催<ul style="list-style-type: none">第一部 各種報告・情報共有第二部 話題提供と質疑応答<ul style="list-style-type: none">「北部九州の活断層について～警固断層帯を中心として」 (佐藤 比呂志 東京大学地震研究所 教授)「日本海沿岸地域住民の津波防災意識—九州・福岡地域を中心に—」 (関谷 直也 東京大学大学院 情報学環附属 総合防災情報研究センター 特任准教授)第三部 意見交換「北部九州3県の地震・津波防災リテラシー向上に向けて」 ※佐賀県・長崎県が参加し、九州合同地域研究会としての性格を併せ持たせた

平成26年度 出席機関

地域	道県		国			市町村	消防	地域 防災	ライオン 事業者	研究者
	関係 部局	出先 機関	地整・ 開発局	出先 機関	気象台					
北海道	◎	○	◎	-	○	○	-	-	-	◎
秋田県	◎	-	○	○	○	○	○	-	○	◎
山形県	◎	◎	-	-	(△)	(△)	(△)	-	-	-
新潟県	◎	-	◎	-	○	-	-	-	-	○
富山県	◎	-	○	○	○	○	-	○	○	○
鳥取県	◎	-	○	○	○	○	○	-	○	◎
福岡県	◎	-	◎	-	○	-	-	-	-	◎

◎ : 事前協議を含め主体となった機関

(△) : 県に事務局を置く既存組織の構成機関（今回は出席なし）

※ : 福岡県地域研究会には佐賀県・長崎県が参加し、九州合同地域研究会としての性格を併せ持たせた